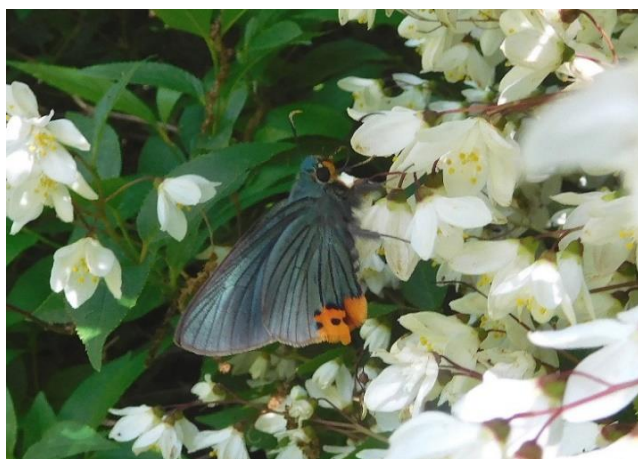


和名	分類	特徴ほか	会える場所								
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他					
アオバセセリ	セセリチョウ科	緑色のセセリ 後羽のダイダイ紋	X	X	○	本州以南					
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹				発生回数/年		越冬形態					
アワブキほか				2		蛹 (さなぎ)					



川崎市 5月3日 (2019年) ヒメウツギに飛来



川崎市 4月28日 (2019年) ヒメウツギで吸蜜 目が愛らしい



川崎市 4月29日 (2020年)



川崎市 4月29日 (2020年)、独特の金属光沢

セセリチョウの重鎮です。アオバセセリを含めセセリは一般的に飛ぶのが速いのですが、花を訪れて吸蜜するときだけはゆっくりと観察することが出来ます。

茶系の多いセセリの中で緑色とその補色の橙色の組み合わせは美しく、また、広い分布の割には数が少ないことから人気者で、ウツギの花が咲く頃の生田緑地にはこの蝶の撮影目的で大きなカメラをかかえた人たちが花の周りに集まりますが残念ながら最近ではその姿を見ることは殆どありません。

4月下旬頃から生田緑地はにわかに活気づき、キツツキが巣作りを始め、菖蒲池ではシュレーゲルアオガエルの合唱と共に無数のオタマジャクシが泳ぎ、ハチたちはせっせと花を巡ります。いよいよ、いろいろな蝶たちが次々と姿を見せるシーズンの開幕です。



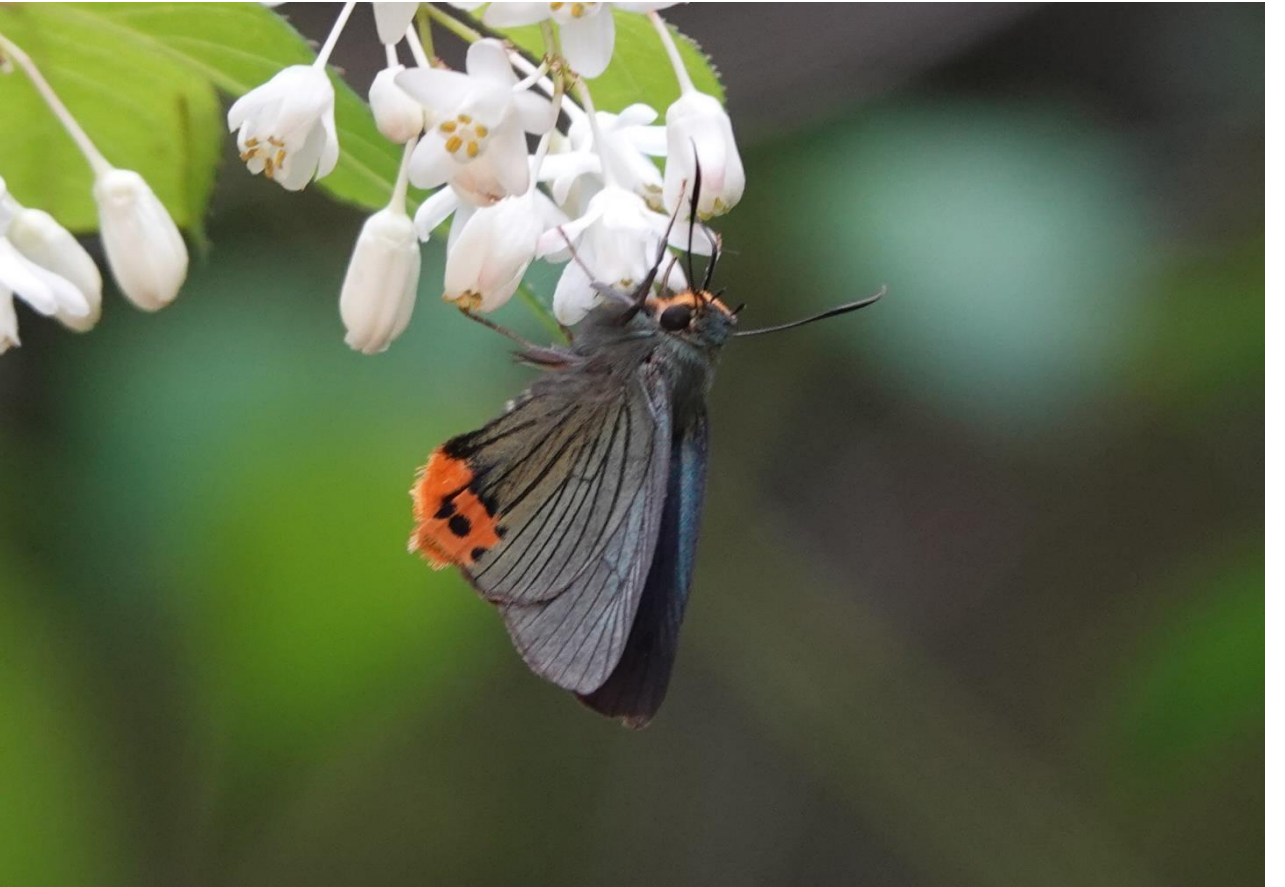
川崎市 4月29日（2020年） 裏の青緑とオレンジの補色の組み合わせの妙



川崎市 4月29日（2020年） 飛来すると睨んだヒメウツギの前で待ち伏せた作戦が功を奏した



八王子市 5月8日（2022年） 待ち伏せ作戦の成功例。落ち着きなくすぐ花を変えるので撮る方も慌てがち



八王子市 5月3日（2023年） 時期的には若干遅かった